

実施日：令和4年10月15日(土) 晴天

参加者：18名

講師：相原嘉之氏（奈良大学 文学部准教授）

奈良大学・財団連携イベント「藤原宮周辺を歩く」

午前の部

晴天に恵まれウォーキング日和。

相原先生の弁舌も軽やかに、飛鳥資料館の庭の石造物から1日が始まりました。

奥山廃寺跡から狂心渠の地形を確認して大官大寺跡へ。次の目的地に行く途中も寺の建造物の跡や狂心渠の跡を地形で確認し、香久山の麓まで歩きました。奈良文化財研究所藤原宮跡資料室の脇を通り、畝尾坐健土安神社、八釣山地蔵、畝尾都多本神社へ。この辺りの狂心渠の跡や道路や礎石から木之本廃寺跡の痕跡を確認し、午前中のウォークは終了。



午後からは奈文研藤原宮跡資料室から西に向かい藤原宮に入りました。各門の説明で朝堂院の広さが実感できます。北に歩を進める途中コスモスが満開で、多くの写真愛好家や観光客がコスモスを愛でていました。そして「大極殿跡」へ。大極殿はそのまま平城京に移設されたため現在平城京に復元された第一次大極殿と同じ建物のはずです。藤原京の遺跡跡や敷地に謎が多く残るのは、企画と建設と解体と移設が短い期間に並行で行われたからかもしれません。東アジア国際時代の激しいうねりを感じます。橿原市藤原京資料室でジオラマを見学した後、南に向かいました。途中コスモス畑の横を通り藤原宮の西面南門と西南隅へ。地形を確認し本薬師寺跡へ。平城京の薬師寺と同規模の大きな寺跡がありました。東西二塔や金堂の礎石が残っています。薬師寺は建物自体は移設されず平城京、藤原京に同時に存在したようですね。これで本日のウォークは終了。

短い藤原京時代の前後の寺の興亡、宮の興亡を遺跡と地形で確認した充実した楽しい一日でした。参加者の皆様お疲れ様でした。奈良大学の相原先生、学生スタッフの方々本当にありがとうございました。

来年はいよいよ「平城京」ウォークです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。